



原発はクリーンエネルギーか？ たまり続ける使用済み核燃料

「原発はクリーンエネルギー」という人がいます。運転時に温室効果ガスを排出しないからだといいます。しかし、原発は①たまり続ける使用済み核燃料②高レベル放射性廃棄物の処分問題③低レベル放射性廃棄物の処分問題④温排水による環境汚染⑤放射能漏れによる環境破壊が起こり、とても「クリーンエネルギー」と呼べるものではありません。日本共産党の井上勝博議員は、12月議会の一般質問で①の使用済み核燃料問題をとりあげました。

プール共用化でも31年まで

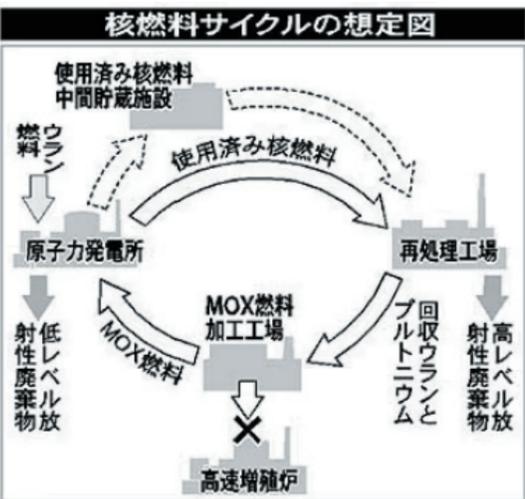
川内原発の敷地内の使用済み核燃料はたまり続けています。電気事業連合会の資料によると使用済み核燃料を保管するプールの貯蔵量は、川内2号機のプール容量1290トンウランのうち1100トンウラン(85%)、2023年9月末時点

井上市議「使用済み核燃料プールが使えるのは報道にあるとおり2031年までか」
市民安全部長「議員の認識のとおりでございます」

六ヶ所再処理工場27回失敗

なぜ使用済み核燃料は原発敷地にたまり続けるのでしょうか？当初の計画では、使用済み核燃料をプールで冷却した後、青森県六ヶ所再処理工場で使用済み核燃料からプルトニウムとウランを取り出して再利用の計画でしたが、再処理工場は27回も稼働に失敗。25年が経過しています。

使用済み核燃料は全国で管理容量の77%(2023年9月末)に



なっています。そこで電力会社は、原発敷地内に乾式貯蔵施設(Ⅱ

川内原発は「共用化」を進めても2031年(7年後)には使えなくなるので、今から乾式貯蔵施設をつくる計画を発表しても間に

た。しんぶん赤旗の配達をするときに車が大きくバウンドするほどです。Aさんは「ときどき砂利を入れるが半年もならないうちに流れてしまふ」とのこと。

道路の凸凹を通報

今年になって初の生活相談は、Aさんの家に行く道路の凸凹でした。市に通報するとすぐに回答がありました。「道路は私道なので市で整備するわけにはいかない」というもの。つきり公

こちらくらしの相談所
(No. 598)
携帯 080-3996-0237
(井上)
なんでもご相談ください。



中間貯蔵施設)の建設を始めています。すでに九州電力玄海原発(玄海町)は、2019年に乾式貯蔵施設計画を発表し2027年に完成予定です。建設には8年間を要しています。

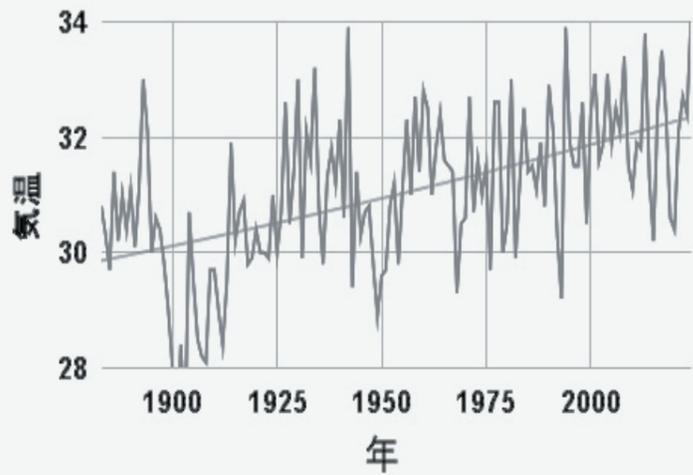
無責任にもほどが！原発政策

井上市議「使用済み核燃料を(六ヶ所村再処理工場に)持って行かないなら、止めてくれと言うべきではないか」
市民安全部長「2026年竣工を目指している六ヶ所再処理工場へ搬出することを基本方針としております」

要することになり、川内原発の使用済み核燃料が搬出される保証はありません。すべての原発の運転を中止し、たまりつづける核のゴミをどうするかを国民的な議論をしなければならぬのではないのでしょうか。

上がる！鹿児島県の平均気温

過去141年間の鹿児島県7月の平均気温の推移



地球温暖化を身近に感じるために、本紙が気象庁のデータから折れ線グラフを作成してみたところ鹿児島県の7月の平均気温が140年前と比べてもおよそ2度上昇していることがわかりました。

気象庁の公式ホームページを開き画面上の「各種データ・資料」をクリックします。「過去の気象データ検

索」をクリックし、画面左の「都道府県・地方を選択」で鹿児島を選び、画面右の「観測開始から月ごとの値を表示」をクリックすると1883年から2024年までの月ごとの平均気温の表が表示されます。年の列と7月の列をコピーしてエクセルに貼り付けて

グラフをつくりまします。このまま温暖化が続くと、豪雨災害や台風の巨大化など地球環境に大きな影響が出てきます。温暖化の原因となる人類由来の二酸化炭素（温室効果ガス）排出を抑えることが急務となっています。

2021年9月「気候危機を打開する日本共産党の2030戦略」を発表し、政府に対して石炭火力の廃止等を提案しています。



「気候危機を打開する日本共産党の2030戦略」

エプロンおばさんの簡単クッキング (656)



カキとニラの中華炒め

材料 (2人分)
カキ 8個、ニラ 1束、もやし 100g、A(オイスターソース・酒・しょうゆ各小2)、小麦粉適量

- 作り方
- ①カキは洗って水気をふき取る。塩・こしょう各少々を振り、小麦粉を薄くまぶしつける。ニラはざく切りにし、もやしはひげ根をざっととりのぞく。
 - ②フライパンに油大1を入れて熱し、①のカキを並べ入れ、両面を焼いて取り出す。
 - ③油大1/2を足してもやしとニラを炒める。②のカキを戻し入れ、Aで調味して手早く炒め合わせる。

9条の会せんさつ講演会

戦争への準備をゆるさないたたかいを

日時：2025年1月19日(日)
14:00～16:00

会場：薩摩川内市 セントピア(視聴覚室)
勝目町3944番地3



講師 平井一臣さん

1958年生まれ。九州大学大学院法学研究科博士後期課程政治専攻単位取得退学。博士(法学)。現在、鹿児島大学教授。専門は政治史・地域政治。

岸田政権は、2022年12月16日に閣議決定された「安保三文書」による「戦争をする国づくり」を進めてきました。この岸田政権を引き継いだ石破政権によって、今後、より一層の大軍拡・「戦争をする国づくり」及び改憲策動が進められようとしています。

川内港が特定利用港湾に指定され、自衛隊や海上保安庁が使いやすい港にされようとしており、さつま町には弾薬庫建設計画が進められています。

政府は、なぜ戦争準備をすすめるのか、私たちはどんなたたかいをすればいいのか、ごいっしょに考えてみましょう。

主催：9条の会せんさつ お問い合わせ 遠嶋 春日児 電話 090-4989-9649



←中俣先生のブログはこちら

中俣先生のつれづれなるままに (782)

明けましておめでとございませう。いつものことながら、こころ書き出すと、心が引き締まります。希望も湧いてきます。今年も、都議選、参議院選挙の年。昨年の総選挙で追い詰めた自公政権に、さらに追撃を加えたいものです。私にとっても、昨年は明るいものでした。まず、かつひろ選挙の後、高江中の教え子のお父さんが、わざわざ児童クラブにおいでになり、かつひろさんの当選を喜んでくださったこと。教え子と言っても、私にとっては初めてのお父さんでした。その日はさっそく帰ってから、言い足りなかつたことをお話ししようと電話を入れたのですが、すでに固定電話は使われていませんでした。もう一つは、スですと、初めてお会いする方が見えて、一万円もの大金をカンパして下さったこと。詳しく聞くと、地元出身の方で、お父さんとは一回だけ、お酒を酌み交わしたことがあり、また新原先生の教え子だということも分かりました。にこにここと人のよさそうな方で、私との初出合いを喜んでいらつしやる風でした。多分、かつひろ看板を見ての訪問だろうと思いましたが、この方とももう少し語り合いたいたいと思いつつ、年を越しました。このお二方は、入党を勧めたい重要な方と思っています。今年そのチャンスがあれば、話に行きたいと思つています。もう一人。半世紀にわたる赤旗読者を止めるという電話。その丁寧さに誠実さが伝わってきました。この三つを心に今年もがんばりたいと思つています。(児童クラブ支援員)